



年 組 名前

# 道新ワークシート

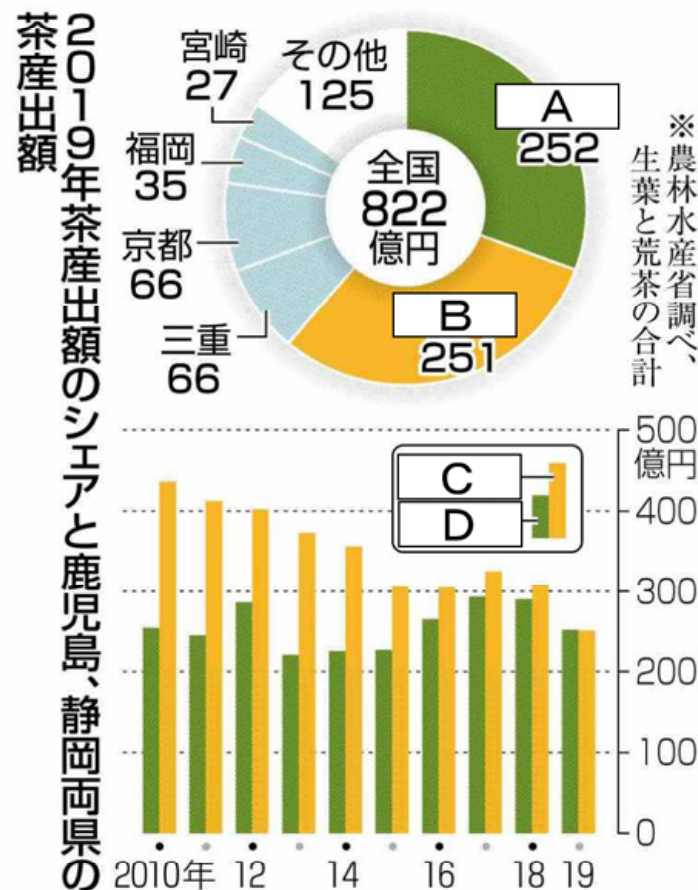
## 茶の産出額 鹿児島首位

### 平地で大規模栽培■高級志向静岡抜く

茶の売り上げに当たる産出額で、鹿児島県が静岡県を上回り初めて首位に立った。逆転劇の背景には、栽培方法の違いや飲み方の変化がある。高級茶志向の静岡に対し、平地が多い鹿児島は大規模栽培でペットボトル向けを伸ばした。ただ国内市場の拡大は望みにくく、両県ともに輸出に力を入れる。

#### 大型機で効率化

農林水産省が3月に公表した2019年の茶産出額で鹿児島は252億円となり、静岡の251億円をわずかに上回った。統計が残る1967年以来首位だった静岡の産出額はこの10年で4割以上減少。一方、鹿児島はほぼ横ばいだ。



「鹿児島堀口製茶」で動く大型の茶摘み機。4月、鹿児島県志布志市



「鹿児島堀口製茶」で動く大型の茶摘み機。4月、鹿児島県志布志市

新茶の収穫期を迎えた4月の鹿児島県志布志市。一面茶畑の中をセンサーを使って無人で動く大型の茶摘み機がゆっくと進み、新芽を刈り取った。県内有数の大規模茶園「鹿児島堀口製茶」は計約300畝で栽培。堀口大輔副社長(38)は「最新技術を使ったスマート農業で余力が生まれ、他の作業にも力を入れる

#### 中国市場に活路

茶の飲み方も変化した。家計調査の1世帯当たりの年間支出額では、急須で入れるのに使うリーフ茶への20年の支出は3817円。この10年で16%減った。一方、ペットボ

「鹿児島堀口製茶」で動く大型の茶摘み機。4月、鹿児島県志布志市

トルなどの茶飲料は同期間で34%増の7676円だった。静岡は主にリーフ茶向けで高価格帯の一番茶を重視してきたが、消費は減少している。県内では新たな需要を掘り起こすため、茶に合う料理と一緒に楽しむ「ティーペアリング」にも取り組む。

2021年5月17日(月)夕刊 全道遅版 社会 6P (記事は一部再編集しています)

①空欄A B C Dに入る県名を書きなさい。

A	県	B	県	C	県	D	県
---	---	---	---	---	---	---	---

②記事にある——線「この10年」とありますが、何年から何年までのことですか。

年から 年まで